

としよしつビンゴ

11月1日(金)～11月29日(金)まで、としよしつビンゴをします！

<としよしつビンゴのルール>

- ①図書室に、としよしつビンゴの紙をもらいに行く。
- ②ビンゴの紙の9つのマスに書いてある本をかりる。
- ③本を読む。
- ④読んだ本のタイトルを、マスの空いているところに書く。
- ⑤たて・よこ・ななめ、どこでも1れつそろったら、図書室に持って行く。
- ⑥1れつそろっていたら、プレゼントがあります！
- ⑦9つのマス全部そろったら、さらにプレゼントがあります！

プレゼントがもらえるのは、12月13日(金)までです。それまでに、ビンゴの紙を図書室に持って来てくださいね。

<ビンゴの紙の見本>

【せんせいの おすすめの本】 (ろうかにある本です)	【4ばんの本】 (どうぶつ・むし・さかな・しょくぶつ)	【こどもがでてくるえほん・ものがたり】
【たべものがでてくるえほん・ものがたり】	【じぶんの すきな本】	【はじめてよむ本】
【5・6・7ばんの本】 (のりもの・ペット・りょうり・なぞなぞ)	【どうぶつがでてくるえほん・ものがたり】	【おかしばなし】

やわたしりつやわたしょうがっこう としよしつ
八幡市立八幡小学校 図書室

ほんのおたより

ねんせい ねんせいよう
(1年生～3年生用)



れいわ ねん がつ にちあきごう
令和6年10月28日秋号

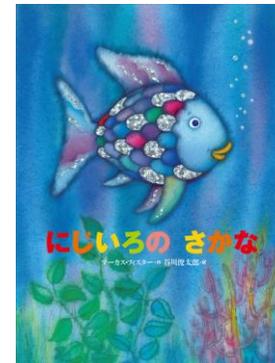
シリーズの本読んでみませんか？

今回の本のおたよりでは、シリーズになっている本をしょうかいします。シリーズの本というのは、何さつにもわたって、同じ人物や、動物などが登場し、同じようなじょうきょうで、お話がつづいていく本のことです。読書の秋に、シリーズの本を全巻読むことにちょうせんしてみませんか？全巻読めると、とても気持ちいいですよ。

また、今、図書室のろうかでは、11月の読書月間の取組として八幡小学校の先生のおすすめの本をてんじしていますよ。ぜひ、かりにきてくださいね。

えほん『にじいろのさかな』 にじいろのさかなシリーズ (全9巻)

マーカス・フィスター/作 谷川俊太郎/訳 講談社



ともだちになるには、どうしたらいいの？

海に1ぴきのとてもきれいな魚がいました。その魚は、青や、緑、むらさきのうろこのなかに、ぎんいろのきらきらかがやくろこももっていて、にじうおとよばれていました。

でも、にじうおは、他の魚たちにつめたくしていたので、ひとりぼっちで、さみしくなりました。「どうして、だれにもすきになってもらえないの？」と、思ったにじうおは、たこのおばあさんに会いに行くことにしました。そこで、たこのおばあさんが教えてくれたことは、どんなことだったのでしょうか？

えほん『としょかんねずみ』としょかんねずみシリーズ (全6巻)

ダニエル・カーク/作 ハワン/絵 わたなべてつた/訳 瑞雲者



ちようせんするゆう気がもらえます

図書かんに住んでいるねずみのサムは、本が大すき。夜になると、だれもない図書かんで、えほんや、ものがたり、スポーツや、りょうりなど、たくさんの本を読んで、本のせかいを楽しんでいました。

ある日、サムは、自分でも本を書いてみたくなりました。さいしょは、

自分のくらしの話、なれてくると、長いお話にもちようせんしてみました。そして、自分の書いた本をこっそり図書かんのたなにならべておいたのです。すると、サムの本を見つけて読んだ子どもたちは、むちゆうになって読んで、サムの本は大人気になりました。そして、子どもたちは、サムに会いたいと言い出すのですが…。本や、図書かんの楽しさを思い出させてくれるシリーズです。

ものがたり『ぞうのたまごのたまごやき』王さまシリーズ (全5巻)

寺村輝夫/作 わかやましずこ/絵 理論社

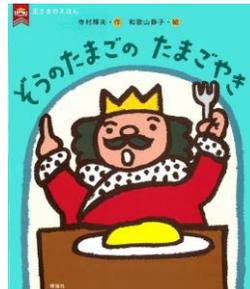
ちよっぴりわがままだけど、あいされている王さまのお話

王さまのうちに赤ちゃんが生まれたので、おいおいをすることになりました。そこで、たまごやきが大すきな王さまは、国中の人にたまごやきをごちそうしようと言います。しかも、「あまくって、ふーわりふくれたあつたかいたまごやきがいい。」と言うのです。

しかし、国中の人にくばれるくらいたくさんたまごはありません。そこで、王さまは、ゾウのたまごをつかえば、大きなたまごやきができるのでは？と、ていあんします。

たまごをやくための大きなフライパンや、かまど、たきぎなどが、どんどん用いされていきます。あとは、ぞうのたまごだけ。でも、ぞうのたまごってありましたっけ？

王さまシリーズは、どれも楽しいお話ばかりで、おすすめです。



ものがたり『うみべのおはなし3にんぐみ』おはなし3にんぐみシリーズ

ジェイムズ・マーシャル/作 小宮由/訳 大日本図書 (全3巻)



たのしいおはなしがたくさんでできます

ローリー、スパイダー、サムは、なかよし3にんぐみ。女の子ローリーが、「おはなしノート」に自分でお話を書いていて、そのお話を聞かせてくれることになりました。それを聞いたサムと、スパイダーは、「ぼくのほうが、もっとおもしろいおはなしができるよ。」と、じゅんばんにお話をはじめます。

そのお話は、ネコとネズミが出てくるハラハラドキドキするけれど、さい後にわらってしまうお話や、かいじゅうが出てくるヒヤヒヤするお話など、つづきが気になって一気に読めてしまう楽しいお話ばかりです。

ものがたり『あたまをつかった小さなおばあさん』

あたまをつかった小さなおばあさんシリーズ (全3巻)

ホープ・ニューウェル/著 まつおかきょうこ/訳 福音館書店

あたまをつかって、毎日を楽しくすこす小さなおばあさんのお話

小さな黄色い家に住む小さいおばあさんは、とてもじょうずに頭をつかって、どんなことかいかけてしまいます。

たとえば、たまねぎとチューリップのきゅうこんがどちらか分からなくなってしまくと、おばあさんは、畑にうえたらたまねぎ、まどの下の箱にうえたらチューリップになるだろうと考えるのです。しかし、ぎゃくに生えてしまいました。それでも、チューリップが畑にできたことで外を通る人たちが楽しめて、たまねぎも家の中にあると、スープをつくる時に近くにあってとりやすいと思えたのです。このように、ちょっとびっくりするようなかいかつのはかたをしてしまうゆかいなおばあさんのお話です。

